

中国江蘇省 常州国家高新技术産業開発区管理委員会との 業務協力覚書の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀）およびみずほ銀行（中国）有限公司は、本日、中国江蘇省常州国家高新技术産業開発区管理委員会との間で業務協力覚書を締結しました。同委員会との業務協力覚書締結は、邦銀では初めてとなります。

常州国家高新技术産業開発区管理委員会は、1992 年に設立された市人民政府傘下の投資促進機関であり、同区への新規進出・投資や既存進出企業の事業・投資拡大の支援等に取り組んでいます。

常州市は、長江デルタ地帯の中心地にあり、上海・南京の中間に位置し、蘇州・無錫と合わせ「蘇錫常都市圏」を構成する工業都市です。常州国家高新技术産業開発区は、国務院が認可した国家級ハイテク産業開発区であり、投資環境の改善を通じ、20 年以上にわたり発展を続けており、1,500 社を超える外資系企業が進出しています。自動車、自動車部品、機械設備等の製造業を中心に、日系企業も約 140 社進出しており、今後もさらなる進出が見込まれています。

みずほ は、本覚書により、同地域への進出・誘致に関するアドバイスや投資説明会開催等への協力を行い、日系企業の進出・発展等を支援していきます。また、日系企業の紹介や産業の高度化等に関する知見の提供を通じて、常州市の経済改革・産業発展にも貢献していきます。

（ご参考）常州市概況（数値は 2015 年）

概要	江蘇省の南東に位置する直轄市 面積 4,385km ² 人口 470 万人
主要な産業	自動車、自動車部品、機械設備、新素材、バイオ医薬品等の製造業
GDP	5,273 億元
輸出入総額	1,437 億米ドル

以 上